

事業番号	15 02 02	事業改善シート(29年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	信州少人数教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課	
		実施期間	H20(4/14) ~	E-mail	gimukvo@pref.nagano.lg.jp	
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト	8 教育再生プロジェクト					
施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 1 未来を切り拓く学力の育成					

1 事業の概要

現状(予算編成時)	・25年度から、小中学校の全学年で少人数学級編制を実施している。 ・学習習慣、生活習慣の定着や学力の向上等に一定の成果を上げている。 ・さらに効果的な事業実施のために、導入効果等の検証を踏まえた指導方法の工夫改善や、不登校支援、いじめ対策等、様々な教育課題に対応した教員配置の検討が必要。	29年度決算額	4,477,800千円
		職員数	2.00人

目指す姿	30人規模学級編制や少人数学習集団編成など、学級や学習集団の規模を引き下げるための教員配置を行うことにより、児童生徒の一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図る。 (主な実施内容:30人規模学級編制や少人数学習集団編成など、学級や学習集団の規模を引き下げるための教員配置など)
------	---

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況										
		前年度繰越				No	成果指標	27年度	28年度	29年度						
	当初予算	4,651,200	4,554,300	4,477,800	4,365,600					目標値	成果	達成状況				
Aの財源	補正予算					1	基礎的・基本的な内容の定着度が全国平均より高い児童生徒の割合	小:62.6% 中:55.5%	小:64.4% 中:54.2%	小:65.0%	小:64.5%	小未達成				
	合計(A)	4,651,200	4,554,300	4,477,800	4,365,600					中:60.0%	中:56.8%	中未達成				
	一般財源	3,162,000	3,097,400	3,041,300	2,927,168					2	小・中学校における不登校児童生徒在籍率	1.26%	1.26%	1.08%	1.29%	未達成
	県債													1.08%	1.29%	未達成
国庫支出金	1,489,200	1,456,900	1,436,500	1,381,984												
その他	0	0	0	56,448												
決算額(B)	概算人員	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00										
	概算人件費	概算人件費(C)	16,552	16,552	16,204	16,204										
	概算事業費(B(A)+C)		4,769,752	4,587,368	4,494,004	4,381,804										

成果指標設定理由	個に応じたきめ細やかな指導・支援による効果を、「基礎学力の確実な定着」「学校生活への適応」の状況によって検証するため。
----------	---

目標に対する成果の状況	・基礎的・基本的な内容の定着度について、小学校ではわずかに目標値に届かなかったものの、ほぼ目標を達成した。中学校においては目標値に達していないが、数値は伸びており、状況は改善されている。また、中学校の学力を学級規模、学校規模によって分析した結果、30人以下、4学級未満の学校において成果が見られた。一方、学級規模、学校規模の大きい学校の学力に課題があり、全体としては未達成となっている。 ・目標は未達成であるものの、不登校児童生徒数が全国的に増加傾向にある中、不登校児童生徒在籍率の全国順位は小学校で6つ、中学校で4つ順位を改善しており、一定の成果を確認している。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	課題	今後の方向性
	分析をもとに、特に大規模校におけるより効果的な教員配置について研究を推進する。少人数学習、授業改善を中心となって行う教員を配置し、成果のあった取組について蓄積し、共有していく。	少人数の学習集団による指導研究の成果を検証し、指導法や組織体制のあり方などについて事例を蓄積するとともに全県への周知を図る。	

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度
					(当初)	(決算)	(当初)
1	8-1-1	信州少人数教育推進事業	小・中学校30人規模学級、少人数学習集団編成、低学年学習習慣形成、不登校児童生徒支援のため教員の配置をし、その効果検証を行った。	2.00	4,477,800	4,477,800	4,365,600
合計				2.00	4,477,800	4,477,800	4,365,600

事業改善シート附表

事業番号 15 02 02	事業名 信州少人数教育推進事業	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	部局 長野県教育委員会事務局	課・室 義務教育課	29年度						総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)		
								27年度 当初 (千円)	28年度 当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	番号	施策の 総合的 展開	予算 (千円)	実施 年度		主な点検 区分結果	
1	信州少人数教育推進事業		直接	小・中学校30人規模学級、少人数学習集団編成、低学年学習習慣形成、不登校児童生徒支援等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・30人規模学級編成のため、小学校167校に318人、中学校118校に310人を配置。 ・少人数学習集団編成のため、小学校167校に167人、中学校25校に25人を配置。 ・小学校低学年学習習慣形成支援のため、122校に163人を配置。 ・不登校等児童生徒支援のため、56校に56人を配置。 ・支援内容に応じた調査やアンケートを学期ごとなど、年に数回実施し、また年度末には配置校より実施報告の提出を求め、配置の効果検証を図っている。 	計画通り ○		4,651,200	4,554,300	4,477,800	4,477,800			4,477,800	8-1-1	7-1,1	4,477,800			150204
合 計								4,651,200	4,554,300	4,477,800	4,477,800	0	4,477,800			4,477,800				